



～おはなしと絵本を楽しむ～

おはなしグループ「パルランド」通信

第12号
2019年6月



田んぼに水が入り、カエルの鳴き声が元気に聞こえるようになりました♪生き物は誰に教わることもなく、季節になったら動き出しますね。感心します。季節の変化に鈍くなったのは人間だけなんではなかろうか？

お話会のプログラムを組むとき、その時々を季節を味わえるようにしています。美しい日本の四季を感じるだけでなく、世界の様々な自然や風景・文化も楽しんでもらえるように願って♪



夏に聞きたいおはなし

アリオージュシカとイワーヌシカ

暑い夏にぴったりの怖くて不思議なおはなし。

アリオージュシカは弟イワーヌシカと二人だけになって、仕事を探しにでかける。太陽は頭の上から照り、のどがかわいたイワーヌシカは、姉が止めるのを聞かずに、ひづめのあとから水を飲んで子ヤギになってしまう。



アリオージュシカは悪い魔女にだまされて川に沈められる。さらにイワーヌシカの命も狙われて…。

ぐいぐいひきつけられる展開が続くが、最後にはもちろん、ハッピーエンド！

トルストイ文、M. プラートフ文、
ラチョフ絵 高杉一郎訳、田中泰子訳
まほうの馬-ロシアのたのしいおはなし
岩波書店



夏に読みたい絵本

はちうえはぼくにまかせて

お父さんの仕事の都合で、夏休みにどこへも行けないトミーは、旅行に行く近所の人たちの鉢植えを預かって世話をすることになります。

トミーが一生懸命世話をすると、植物はどんどん成長して、部屋中がジャングルのようになりました。トミーの楽しそうな表情とは対照的に、お父さんはだんだんイライラしてきます。

そんなある日、トミーは不思議な夢を見ます。そして目を覚ますとどこかへ出かけていくのでした。トミーの鉢植えはどうなるのでしょうか。トミーの成長と、自然の力を感じる一冊。

じーん・ジオン作
マーガレット・ブロイ・グレアム絵
森比左志訳 ペンギン社



19年春

図書館おはなし会のおはなし

- 3月 鳥吞爺 (日本の昔話)
- 4月 ホットケーキ (ノルウェーの昔話)
ルンペルシュティルツヘン (グリム)
- 5月 こすずめのぼうけん (創作)
たまごのカラの酒づくり (イギリスの昔話)
中学生の子たちに♪



お出かけおはなし会 (学校・園など)



年度終わりと新年度の始まりと変化のある季節に「ねずみのすもう」「みつけどり」「鳥のみじい」「いぬとにわとり」「アナンシと五」「ミアッカどん」「くまさんのおでかけ」「王子さまの耳はロバの耳」「金のとさかのおんどりと魔法のひきうす」などを語りました。



小学校や園におはなしを届けに行っていますが、3月は学年の最後で、集大成のような気持ちになります。そして、4月は新しいスタート！です♪ 語り手もちょっと緊張して？ドキドキしながら伺うこともあります。そんな語り手の不安を吹き飛ばしてくれる子どもたちの笑顔♪ また新しい年度もいっぱい子どもたちに素敵な言葉の種をまいていきたいです！



図書館おはなし会



毎月第2土曜日 午後2時～(30分程度)

おはなしのへやにて

対象：6才ぐらいから大人まで

(言葉だけのおはなしを楽しんでもらうため)

内容：ストーリーテリングと絵本

※予約はいりません。お気軽にご参加ください

～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。

【おはなし会のお問い合わせ】
西脇市図書館 (電話 0795-23-5991)
パルランド 丸山 (電話 090-8930-0921)



パルランド通信は「パルランド」が発行しています。